子育て支援を活動分野とするサービスラーニングの特徴と課題に関する文献検討

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-10-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 紀ノ岡, 浩美, 尾崎, 優子 メールアドレス: 所属:
URL	https://kobe-tokiwa.repo.nii.ac.jp/records/1094

4-B-12

子育て支援を活動分野とする サービスラーニングの特徴と課題に関する文献検討

紀ノ岡浩美¹⁾尾崎優子¹⁾

近年、高等教育機関におけるサービスラーニング（以下 SL）は、地域貢献活動に学生が参加することで学生の人間的・社会的な成長に寄与する点において注目されている。

本学は、創立当時より地域との連携を重視し、多様な地域活動に学生たちがボランティアとして参加してきた。しかし、ボランティア活動と学習の間に意図的・明示的な関連が形成されているとはいいがたく、ボランティア活動を学習として位置づける点においては様々な課題を有しているのが現状である。

本研究は、「子育て支援」をテーマに展開する SL の特徴と課題を明らかにすることを目的に、国内文献ならびに SL の発祥である米国の文献を対象として文献検討を行った。

検索の結果、日本では 23 件、米国では 24 件の文献が抽出された。しかし日本の文献で SL に位置づけられた取り組みの発表は 23 件中 6 件のみで、日本ではボランティア活動を SL として位置づけようという動きがみられ始めた段階であるのではないかと考察された。

一方、米国では 1990 年代には SL の研究が行われ、現在多くの大学で SL が正課内活動として位置づけられており、学生への学習効果を評価する研究もみられた。2011 年以降は SL を受けた地域の人々への効果を評価する研究もみられた。

1) 保健科学部看護学科